

日時 令和6年8月29日 18時00分～19時10分

場所 タンタアン

参加者 15名

### 水道課長

- ・ それでは定刻となりました。ただいまから「新中区配水池の説明会」を開催いたします。

本日はお忙しい中、ご参加くださいますようお願い申し上げます。私、本日の司会・進行を勤めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・ 新中区配水池の説明会は今回で6回目となります。当初は、様々な意見をいただきました。その後も説明会を重ね、また、この工事についての陳情書・要望書を提出された団体様とも協議を重ね、皆様のご理解をいただき、ようやくこの場所で配水池工事を行うことができ、まずはその設計にとりかかったところです。

このたびの説明会は、設計業務にとりかかった後ではありますが、地域の方と話し合う余地のある内容について意見調整をするものです。例えば、外壁であったり、水槽の上の広場などの話になります。

本日は、お時間の許す限り、ご意見を伺えればと思います。

- ・ また、この場をお借りしまして管の新設工事についての工事説明もさせていただきます。こちらは、次第のほうには4番にその他という項目で「ニセコひらふ地区送配水管新設工事1工区について」としてあります。こちらは、公園通りで近日中にとりかかる工事で、新中区配水池の水を高区配水池に送る管を布設する工事になります。この説明会の後には、近隣の方々にも周知させていただきます。

- ・ 本日の説明にあたりまして、新中区配水池のほうは説明の途中から設計業務を担当しています株式会社日水コン様より説明させていただきます、公園通りの管の新設工事のほうは受注者になります株式会社竹山建設様より説明させていただきます。

また、新中区配水池の説明と管の新設工事の説明の両方が終了した後に、質疑応答の時間を設けております。ご意見・ご質問はそこでお受けしたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

- ・ それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第の2番目でございます。副町長より御挨拶を申し上げます。それでは副町長、よろしくお願いいたします。

### 副町長

- ・ 今日はずいぶん、新中区の配水地の外壁等の説明についてお忙しいところ、お運び頂きまして誠にありがとうございます。
- ・ この新中区のですね建屋については、3月に説明したときには、外壁についてはタイルでやるという話で説明させていただきました。皆様の意見等も頂いてですね、6月の説明の際には、木を使うということでですね今回は、木で使うということで外観図等もできましたので、それを説明させていただきます。
- ・ もう一つは、当初3月の説明の際には、配水地の上については芝生でやるというふうになっていましたけれども、皆さんの意見等もうかがって、歩けるようにするというのもありまして、上をコンクリート部分にすると、ということで今回どういう形なのかという外観もできてますので、それを説明させていただきます。  
皆様のですね、意見とかお知恵も拝借してですね進めたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## 水道課長

どうもありがとうございました。

- ・ 続きまして、説明に入らせていただきます。使う資料はA4版の資料でタイトル、新中区配水池建屋の外壁等についてとした20ページある資料があります。  
それから、A4番の資料で配水池建屋を茶色系にしたイメージ図2枚があります。こちらは、つい先ほどできてきたばかりの角度からのものになります。  
それから、同じくA4版の資料でタイトル、水道管布設工事についてのお知らせとした5ページある資料があります。  
これら3つの資料になります。不足がある方いらっしゃいましたら、挙手のほうをお願いいたします。  
それでは、いらっしゃらないようですので、まずは次第の3番目「新中区配水池の建屋等」のほうから、ちょっと座って説明させていただきます。
- ・ お手元の資料の表紙をめくっていただいて、2ページの本日の説明内容でございます。  
まず、陳情書・要望書が提出されてからの経過、それから配水池建屋の事業内容になります。そして、今回メインの建屋の外観、外壁の材料、配水池の上の広場、そしてそのまわりの車止めになります。  
あとは再確認になりまして、第2駐車場の使える時期、それから参考資料といたしまして想定している工事工程になります。  
こういった内容で進めてまいります。
- ・ 次にページをめくって3ページをお開きください。

これまでの経過でございます。振り返りになりますので、大まかな流れを説明いたします。

今年の3月12日に陳情書・要望書を提出いただいて以降、事業説明会を3日間にわたり5回開催し、提出された3団体との協議を2回行いました。そこで出された意見をもとに、町で代替案をまとめ、それで進めることの議会報告を経て、設計業務にとりかかった、という流れになります。

その設計業務の受注者であります、株式会社日水コン様より、次のページ以降を説明させていただきます。

### (株)日水コン北海道支所 技術課

- ・ まずは4ページを参照お願いいたします。建設予定地についてですけれども、こちらのニセコひらふ1条1丁目で現在テニスコートを駐車場として使用している敷地の南側になります。こちらは4ページが建設場所の位置図になります。
- ・ ページめくりまして5ページ。これがあの敷地に建築予定の図になります。敷地の範囲につきましては緑の1点斜線で囲った範囲でちょっと分かりづらいかもしれませんが、これが建設予定地でございます。

敷地に西側に建屋、東側の地下部分に配水池を配置しております。

南側ですね、道路からちょっと見た際に建屋で北側の視界をできるだけ遮らないように建屋を極力西側の方に寄せまして、建屋の左長さが短い面を道路側に面するように配置する計画としております。

また、道路側からできるだけ圧迫感を軽減することを意図しております。

グレーで着色している部分ありますけれども、ここは地下に配水池がある部分で地上部分は見通しがきくようにすることができます。

- ・ 引き続き外観等について説明させていただきます。6ページを参照願います。こちらの外観図が南から見た建屋と配水池上部の完成予想図になります。建屋右側の少し高くなっているところがございまして、その部分が下に配水池があるところになります。
- ・ 7ページに移りまして、こちらが建屋南面の完成予想図になります。外壁に木張りを想定している部分になりまして、この木材は地域産の羊蹄カラマツを使用する予定です。屋根については塗装ガルバリウム鋼板、腰壁はコンクリート打ちっぱなし仕上げ。

外観部分につきましては国定公園の基準がございまして、7ページの茶系塗装、それから8ページのクリア塗装、それから9ページのグレー系塗装という3色につきまして今現在町のほうで検討しているところでございます。こちらの塗装の色に

つきましては今日皆様のご意見をお伺いして、今後の検討の参考にさせていただきたいと思います。

- ・ 10 ページに行きまして、10 ページの資料は建屋の立面図になります。  
左上が、道路側から見た南側の立面図になります。  
右上が東面の立面図。  
左下が道路側から見て裏側の北側の立面図。  
配置図をみながらじゃなければ分かりづらいかもしれませんが、右下がゴンドラ側・西側の立面図です。西面は屋根が大きく張り出してまして、屋根からの落雪が多くなるので、壁の仕上を軒下まで、木張りではなくてコンクリート打ちっ放し仕上ということで考えております。  
続いて建屋の外壁の仕様につきまして、ちょっと待ってください、西側の立面図について説明補足しますと、扉の部分につきましては茶色になってますけれども、この部分については木張りにするわけではなくて、塗装をするというカタチでおります。その他の茶色い部分については木張りにするという事としております。
- ・ つきまして建屋の外壁の仕様につきまして、11 ページでご説明いたします。  
先ほども話したんですけれども、屋根については塗装ガルバリウム鋼板、アルミ亜鉛の合金のメッキ鋼板で、外壁の腰壁につきましては、地面から約1 m程度をコンクリート打ちっ放し仕上げとする計画です。
- ・ では12 ページ、地上約1 mから屋根部分までは、幅12cm程度、厚さ1.7cm程度の木材ようていカラマツを計画しています。
- ・ 以上が建築のほうのお話になります。引き続き土木部分につきまして土木担当のほうから説明いたします。

#### (株)日水コン北海道支所 技術課

土木班のほうに説明かわらせていただきます。

立って失礼いたします。引き続きのページでお願いいたします。

私からは、5番といたしまして新中区配水池の地上面についてお話しいたします。

- ・ ①としまして、まず変更の大きなところになります。当初案としまして天然芝です。ね予定していたところがですね、説明会等で皆様から様々な御意見をお伺いする中でですね、現在はコンクリート舗装というふうになっております。  
2番で実際の面積ですけれども、現在の設計値といたしましては、道路側ですね、向かって今右側に、から見たところになりますけれども、幅が17.5m、奥行きが37.5mで面積としては約616㎡というのが今設計数値になります。
- ・ 次お願いします。

次に①としていたしまして実際の使用方法になりますが、現状としてですね、歩行空間でしたり、子供の遊び場というところを想定させていただいております。そのコンクリート面の地下にはですね、皆様がふだん飲まれている飲料水を溜める水槽がございますので、設計思想としてはあくまで安全性や、生命というところが第1というところになります。

従いまして、池の上部ですね、に車を駐車する等はですね、設計では想定はしておりません。理由といたしましては、例えば車をとめるところからですね、オイルが漏れたりとか、それが稀ですけれども、水槽の中に浸透してしまうと、最悪断水とかですね、大きな被害に繋がってしまうというところもございますので、そこは想定していないというところがございます。

荷重については、車の荷重は想定せずに、降った雪の荷重ですね積雪荷重のみを見込んだ設計というカタチになっております。

次に現在の設計数値ですけれども、コンクリートの厚さとしては約7cm、その下に路盤として砂利が23cmあって、その下に土が30cmあるという形になっております。

さらにその下にですね水槽がありまして、防水塗装を施した水槽がコンクリートの厚さとしては45cmの厚さで存在しているという形になっております。

・ 次お願いします。

次に雨水対策になりますが、そこに雨が降ってですね、コンクリート舗装ですんで、基本的には雨はそこに染み込んでいかないという思想になります。ですので基本的にはコンクリートの上はですね、広場の真ん中あたりが少し高くなっていて、周囲に向かって約1.1度、専門用語で2%勾配程度ですね、の雨の勾配を設けまして、真ん中から外側に向かって雨水を流していくというような設計思想になります。ただ、周りに流すだけだと、近隣の宿泊施設等にですね、流れ出てしまうということがありますので、当然なんですけれども、自分の用地内に降った雨がですね、自分の用地内のトラフ、排水トラフを設置をして、その排水トラフで全ての雨水を受けるとような設計思想になります。

次に、ひび割れ防止策ですが、コンクリートの一つの特徴といたしまして、コンクリート現場で打った後ですね、乾燥収縮によって、ひび割れてしまうというような性状があります。ですので、それを防止するためにですね約5m程度を目安に目地ですねスリットを入れることによって、単位面積当たりの収缩量、まあ収缩量は一緒なんですけれども、目地を入れることによって収縮する範囲がですね限られますので、それによってひび割れを防止すると。でひび割れを防止することによって、その上で遊んでる子供たちとか、つまずくことがないようにですとか安全対策の一環としてしっかりと配慮していくというところがございます。

- ・ 次をお願いします。

次にコンクリート仕上げ面についてです。仕上げ面はですね、基本的にはスケートボードが滑ったりですとか、また小さいお子様が遊んだりというところの背景を聞いておりますので、そこを考慮してですね、濡れてきても滑って転ぶことがないように比較的ざらつきの少ない表面とすることを検討しています。で、具体的には、先にパリオリンピックありましたけれども、オリンピックのスケートボード場ですね見るような、少しツルっとしたような表面に仕上げるようなイメージであります。そういったコンクリートの表面保護剤ですとか硬化剤というのがありますので、それを散布することによって、ざらつきですとか、コンクリートを打つときの型枠設置したことによるちょっとした凸凹ですとか、そういったところを無くしていくというような設計思想になっております。

- ・ 次をお願いします。

次6番といたしまして、配水地の車止めについて御説明いたします。

ちょっと平面図が出てきましたので全体をですね簡単に説明をさしていただくと、まずこの上屋と書いてある青い部分、こちらが先ほどパースでも御覧頂いたとおりで、中央より上に見えてくる、建屋になります。木張りの部分ですね。

この下に存在するこの大きな四角ですねグレーのところ、これが地下に水槽がある部分です。この水槽の容量が2000tちょっとありまして、この地区の皆様の水道水を確保しているというような状況です。

その表面がコンクリート舗装をすることによって、皆様に遊んだり、活用していただくというような思想になってまして、その周りを囲っているこのピンクの点線のようなもの、これが表題にあるとおり、車止めになります。役割としては、毎日ですね周り、結構交通量が繁忙期が多いところがございますので、万が一って誤操作でぶつかってきたりとか、入ってくるようなことがあっても、車止めしているところですね、公共施設・衛生施設で遊ぶためのこの空間というのを守っていくというような役割でございますので、それも考慮して、車止めも1m間隔で設置することにしております。

- ・ 次をお願いします。

実際の形状はこのような形になってまして、幅が1.5mで高さが約80cmのものを使用する予定です。

絵としてはこのような形で、よくコンビニとかで見ることがあるかなというふうに思います。

コンビニの設置位置としても、恐らく車をとめる場所とコンビニの間にあると思うので、意図としてはこの配水地をつくる安全性ということと同様になります。

ただ寸法としては、一般的なまち中に見るものよりも、少し大きくて丈夫なものを採用しております。というのは衛生施設・公共施設であるのと、安全性が必要という面で、そのような判断に至っております。

- ・ 次お願いします。

ここからは、工事期間中の第2駐車場の使用について御説明をさせていただきます。

まず①番といたしまして、令和6年度ですね、につきましては、配水地の工事による利用制限はありませんということで、令和6年度に関しましては、この用地全体を御使用頂けるというような形になっております。

次②番で、令和7年4月1日から11月30、令和8年の4月1日から11月30、令和9年の7月1日から8月31日までは全面使用できませんということで、要はですね夏季・夏の期間ですね。工事が動いてる期間というのは用地をですね、全て作業ヤードで使いながら工事を行う関係で、夏の期間においては、申し訳ないんですが、ここの用地は使用できないという形をとらせていただいております。

次3番目といたしましてそれ以外の、令和7年12月1日から令和8年3月31、令和8年の12月1日から令和9年の3月11ということで、要は冬の期間ですね、につきましては、最低限ですね工事を一旦中断をして、最低限この工事エリアだけは建物をつくっているエリアだけはですね、安全対策で囲わせていただくんですけども、それ以外のこの緑色のか所ですね。これについては冬期間においては、駐車場として活用頂くというふうに考えております。

- ・ 次お願いします。

で、最後になりますますが新中区配水池の工事工程になります。

現在が令和6年8月ですので、ここあたりで、追加設計をやっている最中というところがございます。

設計が10月末頃を終了いたしまして、11月に工事発注がされます。施工としては、12月初めから工事着工ということになりまして、12月から3月の期間は、まず杭の製作をやっていくという期間になっております。で、この作業なんですけど、主に工場の中で行う作業となっておりますので、ですので先ほど申し上げましたとおりで、今年令和6年度に関しては、第2駐車場の制限等はございません。

令和7年度の4月、ここで現場入りをしまして、主にその工場で作った杭をどん打っていく。そして地下の躯体を築造していくというようなカタチになっております。で、この年の12月を迎えると、この地区のシーズンに入りますので、一旦工事を中断させていただいて、12月から3月までの間、駐車場として活用頂く。

で、令和8年度の4月にまた現場入りをして、引き続き今度地上部を主につくっていくと、12月にはもうまた中断して駐車場として活用いただく。

で、令和9年度の4月にまた現場入りをして、最後、建物の外装ですとか、外構仕上げ関係を行いまして、工事としては、令和9年の7月から8月に竣工というカタチになります。

そのあと試運転をして問題がなければ、9月頃から供用開始ということで新しい池から皆様の御自宅のほうに飲料水が供給されるというカタチになっております。私の説明は以上です。

## （株）竹山建設

それではニセコひらふ地区送配水管新設工事・1工区について説明いたします。

日頃からお世話になっております。この度、倶知安町水道事業様よりニセコひらふ地区送配水管新設工事カッコ1工区を受注しました株式会社竹山建設と申します。

工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、どうかご理解とご協力を宜しくお願い致します。

- ・ 次お願いします。

工事の説明としましては、町道公園通りのジングスカンえいじん・ひらふ坂T字路までの片側に直径200mmと直径50mmの水道管を埋設し、後日、歩道と車道の舗装復旧をします。

工事の着手は9月9日から舗装切断を実施予定し、準備が出来次第、掘削、配管、埋戻しをしていきます。

工事期間中は舗装復旧するまでの間は碎石で仮復旧となります。一部、敷鉄板養生もします。

工期は11月29日となっておりますが、早期完成できるよう努力します。

- ・ 水道管布設工事の概要についてですが、工事名はニセコひらふ地区送配水管新設工事カッコ1工区。

通行規制は片側交互通行。

工事期間は令和6年9月9日から令和6年11月29日。

作業時間は午前8時から午後6時までです。日曜日は工事を行いませんので、交通規制は行いません。施工業者は株式会社竹山建設です。

- ・ 道路の使用状況ですが、作業区間は40m程度とし、片側交互通行とします。

規制時の車道有効幅は、3m以上を確保します。歩道区間は歩行者専用通路を確保します。

規制区間の前後には交通誘導員を配置します。

工事標識は図面の通り配置し、ひらふ坂のT字路上流と下流側に右折工事中と左折工事中看板を設置します。

車両の停止位置については掘削位置が日々移動しますので、交通誘導員とパイロ  
ンで停止位置を合図します。

- ・ 工事に関する問い合わせ先は受注者、株式会社竹山建設 代表取締役 竹山敏春。  
連絡先 現場担当者 竹山。電話番号は 0136-22-1244。

工事期間中におきましては、皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解  
とご協力をお願い申し上げます。

以上で説明を終わります。

### 水道課長

それでは、これからは、次第の5番になります、質疑応答に入らせていただきます。  
ご意見ご質問がある方は、挙手のほうをお願いします。

また、発言される方にはあちらのほうにいます職員がマイクをお渡ししますので、  
マイクを通じて、お名前や所属等を伝えていただいたうえで、ご発言くださいますよ  
うお願いいたします。

それでは、質問のある方は挙手のほうよろしくをお願いいたします。

-----  
●●● 質疑応答は別紙 ●●●  
-----

### 水道課主幹

何か皆さんほかにご意見・ご要望等ございませんでしょうか。

### 水道課長

それではほかにご意見とか、何かこうして欲しいとかってありませんでしょうか。  
なければですね、本日の説明会はこれで終了させていただきます。  
本日は、どうもありがとうございました。

--- 了 ---